

科目名	社会福祉学概論			ナンバリング	ZBH233	授業形態	講義
対象学年	1 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	1 単位
代表教員	佐々木充直	担当教員					

授業の概要	基本的人権としての生存権を保障する制度としての社会保障制度の概念や歴史を学び、保健・医療・福祉の諸施策のなかでの社会福祉制度の機能や課題について理解する。さらに社会福祉に関する基本的事項を知ることから、医療従事者として機関内外の福祉職及び関連職種との連携、チームアプローチについてイメージできることを目標とする。		
到達目標	1. 社会福祉の歴史的経緯と社会保障制度の概要について説明できる。 2. 高齢者福祉の現状と課題並びに介護保険法の概要について説明できる。 3. 障害児・者福祉の現状と課題並びに障害者総合支援法の概要について説明できる。 4. 社会福祉のに携わる組織、団体や専門職の役割について説明できる。 5. 地域福祉の理念と取組みの実際について説明できる。		
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	我々の身近な福祉職や福祉施設について事前に調べておくと、社会福祉制度の理解が容易になる。また、本科目は高齢者福祉、障害児・者福祉、地域包括ケアシステムなどを学んでいくための基礎的知識となるものであり、関係する他科目と講義内容を関連付けて学習することにより、理解を深めることができる。		
ディプロマポリシーとの関連	【健康医療科学部理学療法学科のディプロマポリシー】		
	○ ₁	広い視野と豊かな教養に基づき、健康の維持・増進およびリハビリテーション専門職の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。	
	○ ₂	地域に住む人々の健康・医療課題を的確に把握し、疾病や障害を予防することや、疾病や障害から生ずる身体機能および能力の回復・改善を促すことを通して、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。	
	₃	健康・医療に関わる課題を解決するために、理学療法の専門的な過程を用いて根拠に基づいた科学的思考が展開でき、優れた理学療法技術を駆使して日常生活活動に関わる基本動作や身体能力の維持・改善に対する支援ができる。	
	₄	健康・医療に関わる理学療法の専門家として科学と健康・医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的且つ能動的な学修ができる。	

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①社会福祉の歴史について説明できる。 ②社会保障制度について概説できる。 ③高齢者福祉制度と介護保険法について概説することができる。 ④障害児・者福祉制度と障害者総合支援法について概説することができる。 ⑤社会資源と地域福祉について理解し、説明できる。	①社会福祉の歴史での専門職化について説明できる。 ②社会保障制度の構成を説明できる。 ③介護保険制度で利用できるサービスを概説することができる。 ④障害者総合支援制度で利用できるサービスを概説することができる。 ⑤社会資源を構成する機関、団体等のそれぞれの役割について説明できる。

成績評価観点	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
評価方法							
定期試験(中間・期末試験)	●						60%
小テスト・授業内レポート			●	●			20%
宿題・授業外レポート			●	●			20%
授業態度・授業への参加							

課題、評価のフィードバック	manabaによるフィードバックを行う
---------------	---------------------

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	社会福祉の歴史と理念	社会福祉の歴史的変遷について解説するとともに、社会福祉の目指すべき理念について説明する。	
	第2回	社会保障制度の概要	わが国の社会保障制度の変遷と現代社会における諸課題について解説する。	
	第3回	医療保険制度と年金保険制度	医療保険制度の現状と課題について解説する。また、年金保険制度について、制度の概要と仕組みについて解説する。	
	第4回	高齢者福祉と介護保険法	高齢者福祉に携わる組織や団体等について解説するとともに、介護保険法の概要について説明する。	
	第5回	障害児・者福祉と障害者総合支援法	障害児・者福祉に携わる組織や団体等について解説するとともに、障害者総合支援法の概要について説明する。	
	第6回	貧困に対する社会保障制度	生活保護法・生活困窮者自立支援法を中心に貧困に対する諸制度について解説する。	
	第7回	社会資源と地域福祉	社会福祉協議会をはじめとした地域の社会資源について解説するとともに、地域福祉の理念、取組みについて説明する。	
	第8回	福祉と医療の連携	福祉と医療の連携について、地域での取組みを中心に解説する。	
	試験	全講義終了後に期末試験を実施する。試験範囲は授業内容の全範囲とする。		
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。適宜、レポート作成での学習を行うこととする。		
授業外学習の指示		教科書並びに資料を基に講義内容を復習する。不明な点は教科書及び参考書等で確認するか教員に質問すること。また、レポート課題を示すので、関係資料を調べたうえで作成すること。 (授業外学習時間： 毎週 220 分)		

教科書	「コメディカルのための社会福祉概論」 鬼崎信好・本郷秀和 編 講談社 定価 2,400円(税別) ISBN978-4-06-156315-5
参考書	適時、必要に応じて紹介する。
参考URLなど	適時、必要に応じて紹介する。
その他	常日頃から身近なところの社会資源について関心を持つことが、本科目の理解に繋がる。